令和2年1月6日

No.188

発行所

(公社)九州海事広報協会

電話 093-701-7897 FAX 093-701-7898

https://kaijikoho-

kyushu.org/

ないながる

公益社団法人 九州海事広報協会 小 を迎えて 100 T 原



あたり、 げます。 令和2年の新春を迎えるに 謹んでご挨拶申し上

う祈念いたします。 平和で明るい年でありますよ とともに、本年が災害のない 心からお見舞い申し上げます 全国各地で発生した自然災害 により被災されました皆様に 年8月の九州北部豪雨や

とご支援ご協力を賜り深く感 謝申し上げます。 局をはじめ、会員の皆様方並 びに関係各位の格別のご理解 にあたりましては、 平素から当協会の事業運営 九州運輸

局、海事関係機関、産業界の などの海事産業施設の見学会 な海のイベント等が開催され ご協力ご支援をいただき実施 や乗船学習会などを九州運輸 ンクール、 るとともに中学生海の絵画コ 間」を中心に管内各地で多彩 昨年の活動につきまして 「海の日」及び「海の月 船、港湾、造船所

を受けて、 ル展を一般財団法人日本モー ターボー また、 ス場で開催し、 海・船に関するパネ 競走会からの助成 管内の6ボー 地域の皆

> に、 理解を深めていただくととも 海事知識の普及を図りま トレ ース事業への

うお願い申し上げます。 お一層のご支援を賜りますよ の皆様並びに会員の皆様のな たいと考えております。 事広報活動を展開してまいり 心に、年間を通じて幅広い海 の日」及び 習を深めていただく取り組み 船と港の役割」を活用し、 会が作成した副教材「海運と 見学会では、日本海事広報協 使用が小学校で始まります。 領により作成された教科書の など、本年におきましても「海 本年は、新しい学習指導要 先生方の海事施設 「海の月間」を中 関係 学

頭のご挨拶と致します。 ご多幸を祈念いたしまして年 益々のご発展と皆様のご健勝 新しい年を迎え海事産業の

年頭の辞

九州運輸局長

月

理

浩

を申し上げます。 新春を迎え、 謹んで御挨拶

された方々に、心よりお見舞 いを申し上げます。 昨年の豪雨災害により被災 熊本地震や九州北部豪雨か

状況にあり、これら被災地の 局職員一同、引き続き取り組 ではいますが、まだ道半ばの らの復旧・復興は着実に進ん んでまいります。

う努めてまいります。 時には迅速な対応ができるよ を取りまとめ、地方公共団体 対応・復興支援に対する取組」 る支援内容をまとめた「災害 正確かつ速やかな情報発信が 県庁に派遣しています。また、 災害時には積極的に職員を各 密にするとともに、災害発生 も平時より関係者間の連携を 輸局として果たすことのでき アカウントを開設するととも 可能となるよう、ツイッター へ周知しております。今後と 災害対応は初動が重要であ 昨年11月には災害時に運 九州運輸局としましても、

に関する抱負を述べさせてい の運輸・観光行政(海事分野) 年頭に当たり、

推進してまいります。 九州における観光の発展を

観光客に九州を御訪問いただ 問等に際して国内外の多くの 光目的地としての九州の魅力 くなど、明るいニュースもあ 大会やローマ教皇の長崎御訪 ウンドの急減等の困難な局面 8月九州北部豪雨、 ラの開催を契機として、 経験した反面、ラグビー 冷え込みによる韓国インバ 昨年、九州観光は令和元年 ルドカップ2019日本 日韓関係 観

九州運 考えています。

実に進めてまいります。 港からの個人旅行客、 国インバウンド急減に対して 起こし、プロモーションを着 それぞれの市場のニーズを正 トナムなどの東南アジア諸 との対話を継続してまいりま は、自治体、民間ベースで進 る取組が必要です。特に、韓 への訪問が拡大するように、 しいタイ、シンガポール、ベ も踏まえつつ、 められている日韓交流の取組 しては、活性化に向けた更な に直面している九州観光に対 復興や韓国インバウンド急減 他方で、大規模災害からの 更には欧米豪からの九州 併せて、 中国 観光資源の掘り 観光関係者 台湾、香 成長著

確かなものとなるよう努めて 備し、九州観光推進の歩みが イレ環境整備、ユニバーサル る多言語対応、W-FI環境整 泊施設、公共交通などにおけ しつつ、地元の自然、歴史、 ことで高水準な受入環境を整 デザイン等の取組を支援する 備、キャッシュレス対応、 です。まちあるきエリアや宿 光などを推進することが必要 観光や環境負荷を軽減した観 文化、食を尊重した体験型の は、各地の受入能力等に配慮 光目的地へと変貌するために そして、 九州が世界的な観

事)分野については、 おり取り組みます。 次のと を世界に発信していきたいと

取組を進めてまいります。 よう、関係者と連携しながら

運輸の各事業(海 は、

\$ 3,5 li 関するの 化

域の産業界と連携・一体と らアジアのゲートウェイとし ります。 なってその発展に努めてまい 優位性を生かし、成長著しい てより一層飛躍するため、 アジアの活力を取り込みなが 九州の港湾が地理的・歴史的 港湾運送事業については、 地

15 いては、船舶の開発・建造か しても、地域造船業の円滑な るところ、九州運輸局としま 外国人材の受入れが進んでい れ、造船・舶用工業における 国人の受入れ制度が創設さ 輪として、造船業の生産性向 と海事人材の育成・確保を両 ら運航までの全工程で情報技 人材確保に向け、 上を推進してまいります。 術等の積極的な活用を目指す 海事生産性革命(i-Shipping) また、造船・舶用工業につ 昨年4月より特定技能外 尽力してま 方の御健勝と御多幸をお祈り

える基盤的な業務について 交通事業者の事故防止につ 最後に、各交通モードを支 次のとおり取り組みます。

制度の活用促進等、 な課題に直面していることを まいります。特に、内航海運 路維持・活性化推進本部」を 局内に設置した「海上旅客航 適合油が安定的に確保できる とから、 本年1月から船舶の燃料油に を講じてまいります。 の強化を図るべく必要な対策 踏まえ、登録船舶管理事業者 働き方改革への対応など様々 業については、船員不足・高齢 営改善に向けた取組を進めて 中心に、航路利用の促進や経 海上交通分野については、 船内の労働環境の改善や SO
規制が強化されたこ 航路事業者が必要な 事業基盤 加えて、

的確に取り組んでまいる所存 社会・経済情勢の動向に対応 気を創ります」をキャッチフ では「運輸と観光で九州の元 した課題、ニーズ等に対して 以上のように、九州運輸局 ーズに、 職員一丸となり、

広報協会ホー ただきました。全文は、 ておりますのでご一読ください。 (海事分野について抜粋させてい ムページに掲載

[予定]

▼11月16~17日出·旧

が予定されています。

1月 鹿児島、長崎で開催

して、新年の御挨拶といたし

結びに、九州の発展と皆様

11月13日(水

三菱重工業㈱下関造船所関釜フェリー㈱「はまゆう」、ミナル)、

下関海事事務所、

協力:下関市港湾局、

下関海陸運送㈱

められており、 ります。交通業界全体で飲酒 輸送の確保に取り組んでまい 査や運輸安全マネジメント評 業者に促すとともに、 を講じていただくよう関係事 いては、より一層の安全対策 お願いしたいと思います。 おいては、 価等を通じて、安全・安心な 関する規制の強化も強く求 事故防止の推進を より一層の安全対 関係事業者に

の配乗等が条約で定められた クルーズ船への立入検査を強 性の確保・向上を図るため、 れる本年は、 排除に努めてまいります。 基準を満たしていない船舶 実施し、構造・設備、乗組員 らに、外国船舶については、 に取り組んでまいります。 導や各種講習会の実施を通じ ポートステートコントロール 運航管理監査等を的確に実施 の海技資格・乗組体制の審査、 (寄港国による監督) を適切に て事故防止に関する啓発活動 むとともに、 また、海上交通の安全確保 ついては、 東京オリ・パラが開催さ 船舶事故の防止に取り組 保安対策の実効 小型船の安全指 船舶検査、 特 3

• 下関市立垢田小学校下関市

▼11月19日火

5年生51人、先生3人

長州出島(多目的国際ター

東亜工機㈱、

2年生36人、教諭2人

国立唐津海上技術学校 鹿島市、伊万里市

佐賀運輸支局

株名村造船所

▼10月21日月

化してまいります。

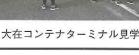


長州出島多目的国際ターミナル見学





▼11月19日火 日本製鉄㈱大分製鉄所、 大分運輸支局、 5.6年生46人、教諭4人 津久見市立千怒小学校 九州地区船員対策連絡協議会 大在コンテナターミナル 大分市





・熊本 連軸 支局・熊本 連軸 支局

教諭2人 保護者8人、

宇城市立小川小学校

熊本県玉名郡長洲町ほか

9月25日(水

帆船「みらいへ」、 監視艇「げんかい」、 「船舶集合」 1万9千人 液渫船「海翔丸」、 補給艦「ましゅう」、 練習船「青雲丸」、

北九州港開港30周年

北九州市

がいる出会い

海事施設見学会 9月以降

☆ご協力いただきました皆様、 ありがとうございました。

北九州港開港13周年記念事 巡視船「くにさき」 業実行委員会